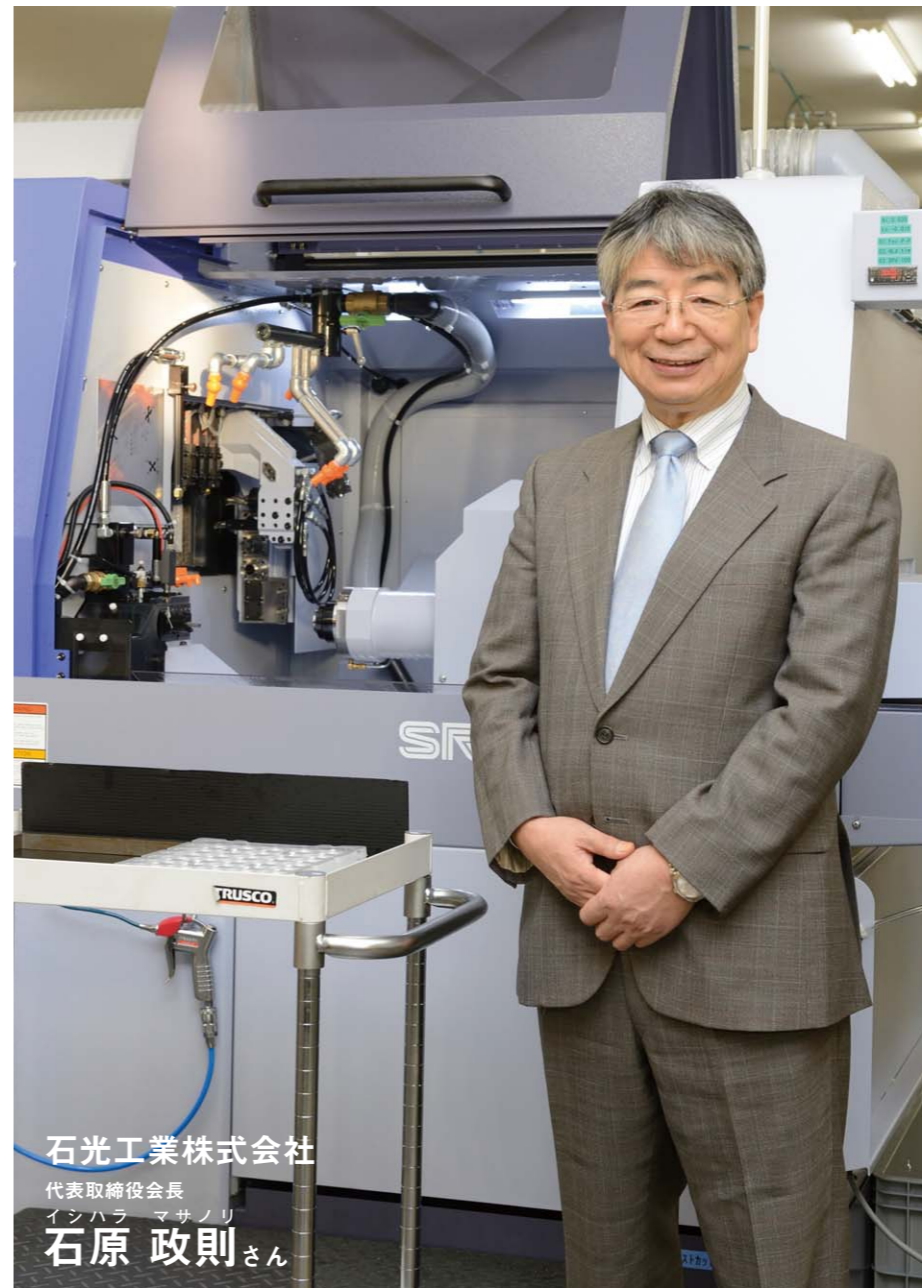


今月のフレンズ

将来を見据えた人づくりとモノづくり

自動車のエンジン周りの精密機能小物部品の製造を得意とする石光工業株式会社。中でも、自動車の吸気装置に組み込まれ、取り入れ口の開き具合を調整する「スロットルシャフト」は国内60%、海外15%のシェアを占めています。高い技術力と低コストで他社が追従できないモノづくりを行なう同社の強みについて、代表取締役会長の石原政則さんにお話を伺いました。



石光工業株式会社
代表取締役会長
イシハラ マサノリ
石原 政則さん

高い技術力と低コストで他社を圧倒

当社は自動車エンジンのスロットルシャフトやバルブなどの精密切削加工製品を製造しています。創業当初は丸棒の切削加工を行なっていました。得意先での後加工がいらぬ一貫生産体制の確立を進めてきました。

時代の流れで自動車エンジンの燃料噴射装置は機械式から電子式へと変わり、シャフトに求められるものも変化しました。当社では、以前より電子式スロットルシャフトの開発に着手していたことから、これにいち早く対応し、大きな商機となりました。当社の強みは、他社に真似できない精密切削加工技術による「つくりこみ」です。開発段階から機械メーカーとタイアップするなど、より高精度の製品づくりを目指し、徹底した品質改善と低コストの実現で、スロットルシャフトは国内60%、海外15%のシェアを占めています。

全員技術者を目標して

当社では、技能の育成と「人づくり」の場として、2007年に社内トレーニングセンター「集学舎」を設立しました。



社内技能認定は3区分（NC技能、MC技能、CS技能）・3階級。あらゆるモノづくりに対応できる人材を育成しています。

これまでは、先輩が後輩に座学で教え、機械が空いた時に実習を行なっていました。集学舎で体系的に人材育成を行ない、全員技術者を目標としています。当社では「平等」と「差」を大切に、年功序列ではなく努力を認め合い切磋琢磨しながら、技術を磨いています。

研修は全て勤務時間内で行ない、研修時間は全従業員で6,000時間を越えます。社内規定としてA級・B級・C級の技能認定制度を設け、全員がC級を取得しているほか、国家技能検定1級に合格した人もいます。

豊かな人間づくりCS活動

当社のCS活動はカルチャー&スポーツ活動を指します。技術の向上はもちろんですが、社員の結束力を高め、豊かな人間を育てるために、ガーデニングや音楽、フット



会社一丸となり、各種イベントを盛り上げています。写真は七夕祭り。

トサルなど10のクラブ活動を行なっています。その他、創業祭や七夕祭りなど、社員が楽しんでイベントを開催しています。また、当社は全員正社員で、パートは個人の都合に合わせた働き方ができるなど、人を大切にしている明るい職場づくりを目指しています。

四極体制の確立で更なる飛躍を

自動車業界は自動車本体メーカーの現地生産化や為替のリスクなどにより、この20年で大きく変化し、当社もこの流れに沿ってグローバル展開を進めました。まず始めに2003年のチエコ工場を設立し、2012年にタイ工場、今年2月にメキシコ工場を稼働させる予定です。

日本を含めた「四極体制」で独自性を生かし、柔軟に対応できる

今月の表紙説明



切削加工は鉄やステンレスなどの材料を切削工具で削りだす加工法で、当社ではお客様のご要望に応じ、サイズの異なる多品種の精密シャフトを生産しています。表紙の写真では、60年以上にわたり削ってきた鉄くずの山をイメージしています。

Company Data【会社概要】

創業 1953年
所在地 あま市基目寺山王35
TEL 052-444-2210
URL <http://www.ishi-mitsu.co.jp/>
事業内容 各種自動車の機能・安全制御機器に内蔵される精密切削加工品の製造販売



「世界青少年発明工夫展2017(昨年7月)」に出展。キーホルダー制作体験を通して次世代を担う子ども達にモノづくりの楽しさを伝えました。

そのため、当社は内燃機関として付加価値を高めたモノづくりを続けていき、この大きな変化もチャンスと捉え、楽しんでモノづくりを行なっていきたいと思っています。また、少子高齢化の中で、従業員が定年後も「心地よく働ける」ように、将来、農業を行なう会社を立ち上げたいと考えています。私は「人を創ればモノが創れる」と思っています。これからも「将来を見据えた人づくりとモノづくり」でトップの切削メーカーを目指していきたいと思っています。